

プロジェクト

所得向上プログラムの実践（新規）

目 標	・ 1 経営体当たりの生産農業所得 R5：488万円 → R10：625万円
挑戦する内容	・ 農業者の経営分析・経営改善指導等の指導体制の強化 ・ 所得向上プログラムの実践支援
関係者の声 = 対話	・ 所得向上プログラムの実践に向け若手農業者が活用しやすい補助事業を設計してほしい（市町村） ・ 取組内容をコンペ形式で競わせて農家がもっと稼げるようになると面白い（農業経営士） ・ 所得向上プログラムの実現に向け提案型の補助事業を創設してほしい（農業経営士） ・ きめ細かく経営指導ができる普及指導員を育成し、濃密的に経営改善指導を行うべき（農業経営士）
役割分担	・ 農業者 : 所得向上チャレンジプランの作成、所得向上プログラムの実践 ・ 市町村 : 相談窓口、生産者への情報提供 ・ 全農・農協 : 現地指導、栽培講習会の開催 ・ 産技センター : 新技術の開発・普及、各種データの収集・分析 ・ 農業経営・就農サポートセンター : 相談窓口、経営分析支援 ・ 県 : 経営分析・経営改善指導、現地指導、機械・施設等の導入支援
変革後の姿	・ 経営指導力の高い普及職員の育成により、効率的な経営分析・経営改善等の指導体制が確立 ・ 所得向上プログラムの成功事例を横展開することで、多くの農業者の所得が向上し経営が安定

令和7年度計画

挑戦する内容

- 1 農業者の経営分析・経営改善指導等の指導体制の強化
 - ・ 所得向上チャレンジプランの作成に向けた、農業者の経営分析・経営改善指導（農林水産事務所）
 - ・ 農水省が開発した経営分析補助ツールを活用した経営分析（農林水産事務所）
 - ・ 農研機構が開発を進めている農業特化版生成AIの導入に向けた対象品目の選定及びデータの収集
 - ・ 若手普及職員の指導力向上に向けた提案型研修の実施
- 2 所得向上プログラムの実践支援
 - ・ 農業者自らが提案するチャレンジプランに基づく取組をソフト・ハードの両面から支援
 - ・ 所得向上プログラム実践者に対する継続的な技術・経営改善指導（農林水産事務所）
 - ・ 作付面積、収量、品質、販売単価、労働時間、収入、経営費等のデータを収集し、所得向上プログラムの実施効果を分析（農林水産事務所）



イチゴの高設栽培



水稻の可変施肥田植

対話

- ・ 部会を開催し、事業の進捗状況を把握するとともに、意見を参考に事業構築（7月、1月）
- ・ 担当者会議を開催し、支援内容、支援方法について検討（4月）
- ・ 所得向上プログラム実践者の現地巡回指導時に進捗状況を聞き取り、技術・経営改善指導に反映（随時）
- ・ 市町村、農協等の関係機関と打ち合わせを行い、所得向上プログラムの実施状況と連携方法について意見交換（年3回）